

Bunka Navi 文化ナビ

〒 757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎ 71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

文化の薫るまちになあれ…
不二輸送機ホール
(山陽小野田市文化会館)
休館日：第1・第3火曜日

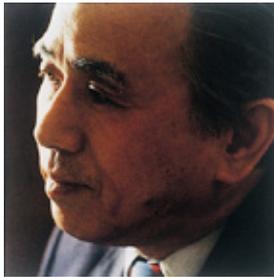
ガラス探訪アーカイブス

山陽小野田市とガラス

窯業のまちとして発展してきた山陽小野田市。「ガラス」も窯業のひとつであることから、ガラス文化の振興に取り組んでいます。ガラス文化の発展に多大な貢献をされた、旧小野田市出身で世界的に高い評価を受けているガラス造形作家の故竹内傳治氏。ご遺族から、数々の貴重なガラス作品の寄贈を受け、市の財産として市内の公共施設などに展示しています。このコーナーでは、本市が所蔵する現代ガラス作品を紹介します。

竹内 傳治 Denji Takeuchi

昭和9年(1934年)旧小野田市に生まれる。昭和33年(1958年)、佐々木ガラスに入社。取締役、顧問を経て、平成7年(1995年)からフリーのガラス造形作家として活躍。平成13年(2001年)の「第1回現代ガラス展 in おのだ」の審査員長を務める。同年7月16日没。



第1回 竹内 傳治『ベネチアン』シリーズ

「ベネチアングラス」という言葉を耳にしたことがある人も多いのではないのでしょうか。ベネチアングラスは、イタリア北東部ヴェネツィアで作られるガラス工芸作品の地域ブランドです。

平成3年(1991年)に、竹内氏がイタリアヴェネツィアでガラス制作を始めたときのシリーズで、赤や青などのカラフルな色使いが特徴です。



左からベネチアン花器、ベネチアンボトル(不二輸送機ホール(文化会館)展示)、ベネチアンボトル(山口東京理科大学展示)

竹内傳治氏の作品や現代ガラス展受賞者の作品は、市ホームページからご覧いただけます。

山陽小野田市 現代ガラス作品 検索

COLUMN

眼前に広がる初夏の訪れ

春過ぎて 夏来にけらし 白妙の
衣干すてふ 天の香具山

持統天皇

〈現代訳〉いつの間にか春が過ぎて夏が来たらしい。真っ白な衣を干すという天の香具山に。

作者の持統天皇は、百人一首の一番歌「秋の田のかりほの庵のとまをあらみわが衣手は露にぬれつつ」の作者天智天皇の皇女で、13歳の時に叔父の大海人皇子(後の天武天皇)に嫁ぎ、天武天皇没後、史上4人目の女性天皇として即位しました。

百人一首の中で夏の歌は、4首あります。他の季節に比べ少ない歌数です。当時の暦では、1～3月が春、4～6月が夏でしたので、今の季節感とは少し違います。奈良県にある大和三山の一つである香具山は、天から降ってきた神聖な山とされていることから、「天の香具山」と表現されています。香具山では、夏になると白い衣を干す習慣がありました。初夏の新緑と白い衣の色彩鮮やかな風景が目浮かびますね。

山陽小野田市も、初夏が訪れ美しい万緑でいっぱいです。豊かな自然から元気を分けてもらえますね。



小野田高等学校小倉百人一首かるた部
顧問 青池 のぞみ